

群馬交響乐团による 弦楽の夕べ

4月27日(木) 17:30~18:00

パシフィコ横浜 国立大ホール1F(第1会場)

1. グリーク／ホルベルク組曲より 前奏曲 アリア
E. GRIEG / HOLBERG SUITE, Præhodium (Prelude)/Air
2. モーツァルト／セレナード第13番ト長調K.525
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章
W. A. MOZART / "Eine kleine Nachtmusic" K.525, Allegro
3. ヴィヴァルディ／「四季」より「春」
A. VIVALDI / "The Four Seasons" Spring
4. チャイコフスキー／弦楽のためのセレナードより第2楽章 ワルツ
P. I. TCHAIKOVSKY / SERENADE for strings, Valse: Moderato (tempo di Valse)

群馬交響乐团 Gunma Symphony Orchestra

1945年、戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して「高崎市民オーケストラ」が創設され、翌年「群馬フィルハーモニーオーケストラ」、1963年に「財団法人群馬交響乐团」と改称して現在に至る。

1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け、前音楽監督 高関 健指揮のもと4カ国を巡る海外公演を実現した。翌年の創立50周年には東京及び群馬県内各地でベートーヴェン全交響曲連続演奏会を行った他、50周年記念委嘱作品「オーケストラのための遠景Ⅱ」(細川俊夫作曲)を東京・群馬で初演し、高い評価を得た。

2003年5月には第400回定期演奏会を迎えるとともに、同年10月にはNHKテレビ番組「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」で楽団の草創期が紹介され、全国から再注目された。さらに、2005年4月にはNHK朝の連続テレビ小説「ファイト」の主題曲を担当し高評価を得た。

1998年より首席客演指揮者 マルティン・トウルノフスキー就任。2010年～2012年首席指揮者兼芸術アドバイザー 沼尻竜典。2013年4月音楽監督 大友直人就任。「公益財団法人群馬交響乐团」と改称。



第117回 日本外科学会定期学術集会

群馬交響楽団員の中から、
今回の第117回日本外科学会定期学術集会のためだけに選出され、
構成された10名による弦楽合奏です。



伊藤 文乃
(群響コンサートマスター)



棚田 敦子
(第1ヴァイオリン)



松本 花菜
(第1ヴァイオリン)



秋葉 美果
(第2ヴァイオリン首席)



高杉
(第2ヴァイオリン)



渡邊 信一郎
(ヴィオラ首席)



太田 玲奈
(ヴィオラ)



レオニード・グルチン
(チェロ首席)



ファニー・プザルグ
(チェロ)



石神 悠
(コントラバス)

